



徳守神社略記

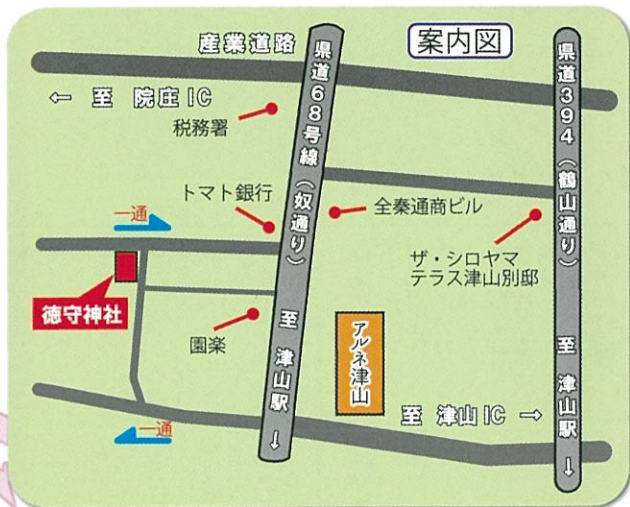
津山総鎮守

森忠政公造営社



神さま見習いの とくちゃん

徳守さまの暖かな陽に照らされ
おしあわせでありますように



【駐車場】 東門より境内にお入りください
土日祝のみ臨時駐車場有り

とくもりじんじゃ

検索

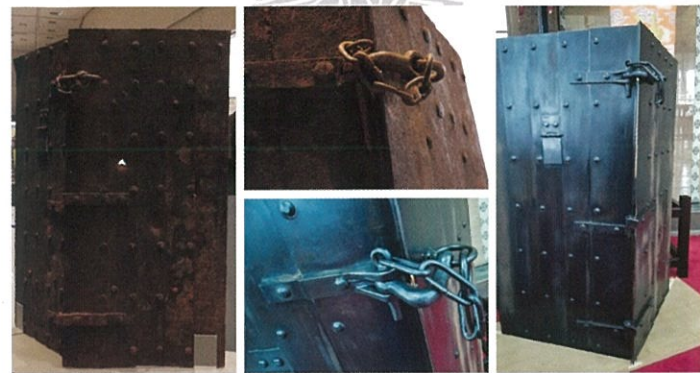
徳守神社社務所

岡山県津山市宮脇町5番地
Tel 0868-22-9532/Fax 0868-22-2096
Mail mail@tokumori.or.jp
Web <https://www.tokumori.or.jp/>

美作津山藩初代藩主森忠政

森可成の末子、森蘭丸の弟
少年期に織田信長の影響を受ける
美作入封後、地名を津山と改め
築城と共に徳守神社を守護神
として現在の地に造営する

江戸時代以前に鉄を用いた盾と、これを買く火縄銃が存在していた!



御神宝【鉄盾】とレプリカ

大阪夏の陣 激しい銃撃により大きな被害を受けた森忠政に徳川家康は10張の鉄盾を授けた。津山に帰還した折に当社に奉納された鉄盾が現存している。(写真左)
レプリカ作成 津山城完成400年を記念し、平成28年秋の大祭の折に鉄盾のレプリカが作成奉納された。(写真右)



【ご祈願案内】 年中無休・予約不可(会社・団体のみ要予約)
午前9時半頃～午後3時迄(随時祈願)

祈願種別

- 安産祈願
- 交通安全
- 初宮参り
- 開運厄除
- 七五三詣
- 商売繁盛
- 厄祓祈願
- 家内安全
- 合格祈願
- 病気平癒



Instagram



Facebook



Website



由緒

当神社は聖武天皇の御代天平五年（七三三）の創祀。社地は当初現在の津山市小田中の地にあったが、天文八年（一五三九）火災に遭い社殿宝物等悉く焼失した。慶長八年（一六〇三）美作の国一八万六千五百石の国守大名として入封した森忠政公（森蘭丸の弟）が津山城を築くにあたり、翌九年（一六〇四）現在地に移して津山城下の総鎮守とした。

現在の社殿は寛文四年（一六六四）二代藩主森長継公が改築したもので明治五年に県社に列せられ、その後昭和三十一年に県指定の重要文化財に指定された。

「徳守」の社号は勅使として参向した清閑寺大納言藤原徳守の名に因むといわれるが定かではない。

境内に赤穂四十七士の一人神崎与五郎則休の歌碑「海山は中にありとも神垣の隔てぬ影や秋の夜の月」があるが、彼はもと津山藩士であり当社を深く信仰していた事が歌から伺い知れる。



御祭神

主祭神及び本殿相殿に四柱鎮座

主祭神 天照皇大神（神々の世界を治める日の神『日本書紀』）
相殿 国常立尊 伊弉諾尊 月読尊 誉田別尊



社殿

〔岡山県指定重要文化財〕
〔幣殿拝殿含む〕

本殿は正面三間 側面三間の中山造り（入母屋造り、妻入型式）で、正面に唐破風の向拝をつけている。

そして、軒回りにはみごとな彫刻の装飾がなされており、幣殿（釣殿）拝殿も同時期の建物として現存していることなどから、近世初期の優れた神社建築として昭和三十一年に県の重要文化財として指定される。



本殿の花彫刻高い技術を見せる透かし彫り

尚、現在の本殿が造営された当時の姿は、色鮮やかな極彩色であり、現在では一部の塗料が残るのみであるが、本殿内部には鮮やかな花の天井絵が現存し、また幣殿の床は、元は一面が黒漆喰であった。



秋祭り

十月第四日曜日

徳守大祭

当社秋の例大祭、例祭に引き続き執り行われる御神幸祭では氏子町内に実に八時間程かけて大名行列の如く大神輿と共に巡幸する。平成二十八年津山城完成四百年を記念し新たな変化を迎え、奴通りにて大神輿をお披露目し、お清めを受けた鉄砲隊による火縄銃の発砲にて津山の祓えとする行事、また、境内では時代絵巻風に奉納演芸などの神賑いが行われるようになった。



大神輿

〔津山指定重要文化財〕

初代神輿は、長継公が現在の社殿への改修に併せ黒塗りの神輿として新調された。明和二年まで当社に残るが、以後の消息は不明である。

現神輿は文化六年（一八〇九）氏子の総力を結集して金塗神輿が新調され、その後明治三十一年（一八九八）、平成二十三年（二〇一一）に修理がなされ現在に至る。この神輿の大きさは本体部分たてよこそれぞれ一、七m、屋根部分たてよこそれぞれ二、一m、総高二、八m、重さは約一tといわれており、近隣に類例のない大きさを有し、その大きさと美しさから日本三大神輿のひとつと伝わるが根拠は不明である。



現在の金色輝く大神輿と徳守神田流大獅子練り



◆年中行事案内◆

- ◆歳旦祭 元旦
- ◆とんど 一月十四・十五日
- ◆節分祭 二月三日
- ◆祈念祭及び崇敬会大会 四月二十三日
- ◆万燈籠 七月二十三日
- ◆夏越祭 七月二十三日
- ◆秋祭り 十月第四日曜日
- ◆新嘗祭 十一月二十四日
- ◆除夜祭・古神札焼納祭 十二月三十一日

◆境内神社一覧◆

- 住吉神社（摂社）
- 恵毘須神社・寿福幸神社
- 大國主神社
- 善神社（お花宮）
- 高倉稲荷神社
- 鹿島神社・香取神社
- 春日神社・八幡神社・荒神社
- 薬祖神社・秋葉神社
- 陰陽二柱神社
- 塞神社 若宮



授与品

当社神主たちで考案した特別な想いを込めた御守り

しあわせまもり

津山のさくらと幸運のハートがひとつ



津山城守護神の由緒に験担ぎ

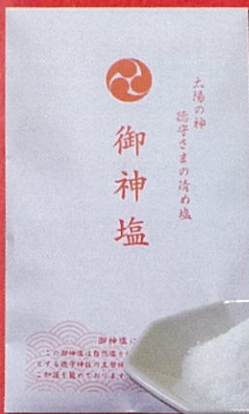
勝守り

裏に願意カード付



御神塩

太陽の清め塩
盛り塩やお清めに
※郵送も承ります



神主の手により神社内で奉製しています



万灯籠

夏越祭宵祭

長年絶えていた宵祭が万灯籠として復活。淡い光で彩られた本殿は、より厳かな雰囲気となり、花と竹をテーマに照らされた境内は癒やしの場へとその姿を変える。

